

令和6（2024）年度マサバ対馬暖流系群の資源評価に関する 令和6年12月20日付調査・評価部会長宛事務連絡への回答

水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター
向 草世香・依田真里

水産庁より、調整係数 β を0.95とした場合の将来予測の計算と2025年漁期の漁獲量の算定に関する依頼があった（添付資料）。

令和6（2024）年度マサバ対馬暖流系群の資源評価報告書（FRA-SA2024-SC17-01）における補足資料4「漁獲管理規則案に対応した将来予測」に、調整係数 β を0.95で予測した際の「将来の親魚量が（a）目標管理基準値案および（b）限界管理基準値案を上回る確率」（表1）と「将来の平均親魚量」（表2）および「将来の平均漁獲量」（表3）の結果を追加した。今回の資料に関し、計算方法等に関する変更はない。

調整係数 β を0.95とした場合、2035年に目標管理基準値案および限界管理基準値案を上回る確率はそれぞれ61%および100%であった（表1）。また2025年（暦年）の平均親魚量は31.9万トン（表2）、平均漁獲量は25.2万トンであった（表3）。2025年漁期の平均漁獲量は25.7万トンと算定された。

表 1 将来の親魚量が目標・限界管理基準値案を上回る確率

a) 目標管理基準値案を上回る確率 (%)

β	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
1.00	0	34	43	45	46	47	47	47	47	46	47	46
0.95			49	56	60	60	62	62	61	61	62	61
0.90			56	67	72	74	75	75	75	75	75	75
0.80			70	84	90	92	93	93	93	93	94	94
0.70			82	94	98	99	99	99	99	99	99	99
0.60			90	99	100	100	100	100	100	100	100	100
0.50			95	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.40			98	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.30			99	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.20			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.10			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.00			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
現状の漁獲圧					42	45	46	46	46	46	46	45

b) 限界管理基準値案を上回る確率 (%)

β	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
1.00	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.95			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.90			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.80			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.70			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.60			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.50			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.40			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.30			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.20			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.10			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
0.00			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
現状の漁獲圧					100	100	100	100	100	100	100	100

β を 0.0~1.0 で変更した場合の将来予測の結果を示す。2024 年の漁獲量は現状の漁獲圧 (F2021-2023) から予測される 25.7 万トンとし、2025 年から漁獲管理規則案による漁獲とした。比較のため現状の漁獲圧 (F2021-F2023、 $\beta=1.00$ に相当) で漁獲を続けた場合の結果も示した。

表 2 将来の平均親魚量 (万トン)

β	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035		
1.00	306	319	326	328	329	330	331	330	330	330	329	329		
0.95			334	342	346	348	350	350	349	350	349	349		
0.90			343	357	364	367	370	370	370	370	369	369		
0.80			361	388	402	409	412	413	412	413	413	412	412	
0.70			381	422	445	454	458	459	458	458	458	458	457	
0.60			401	460	492	504	508	508	507	507	507	506	506	
0.50			423	501	544	559	562	561	559	559	559	558	558	
0.40			446	546	602	620	622	618	615	614	614	614	614	
0.30			471	596	668	689	687	679	675	674	674	674	674	
0.20			497	652	742	766	759	746	739	739	739	740	740	
0.10			524	712	826	855	842	821	810	809	811	813	813	
0.00			553	780	921	959	937	906	888	886	890	894	894	
現状の漁獲圧					325	327	328	329	329	329	328	329	328	328

β を 0.0~1.0 で変更した場合の将来予測の結果を示す。2024 年の漁獲量は現状の漁獲圧 (F2021-2023) から予測される 25.7 万トンとし、2025 年から漁獲管理規則案による漁獲とした。比較のため現状の漁獲圧 (F2021-F2023、 $\beta=1.00$ に相当) で漁獲を続けた場合の結果も示した。

表 3 将来の平均漁獲量 (万トン)

β	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	
1.00	257	262	265	266	267	267	267	267	267	267	266	267	
0.95		252	259	263	265	266	266	266	266	266	266	266	
0.90		242	253	259	262	264	264	264	264	264	264	264	
0.80		220	239	249	254	256	257	257	257	257	257	257	
0.70		197	222	235	242	245	245	245	245	245	245	245	
0.60		173	202	218	225	228	229	228	228	228	228	228	
0.50		148	179	196	204	206	206	206	206	206	205	206	
0.40		121	152	170	178	179	179	178	178	178	177	178	
0.30		93	121	138	145	146	145	144	144	144	144	144	
0.20		64	86	100	105	106	105	103	103	103	103	103	
0.10		33	46	54	58	58	57	56	56	56	56	56	
0.00		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
現状の漁獲圧			263	265	267	267	267	267	267	267	267	266	267

β を 0.0~1.0 で変更した場合の将来予測の結果を示す。2024 年の漁獲量は現状の漁獲圧 (F2021-2023) から予測される 25.7 万トンとし、2025 年から漁獲管理規則案による漁獲とした。比較のため現状の漁獲圧 (F2021-F2023、 $\beta=1.00$ に相当) で漁獲を続けた場合の結果も示した。

(添 付 資 料)

事 務 連 絡
令和 6 年 12 月 20 日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所 調査・評価部会長 福若雅章 様

水産庁 漁場資源課 沿岸資源班長

マサバ対馬暖流系群、ゴマサバ対馬暖流系群の資源評価に関する
試算等についてのお願い

マサバ対馬暖流系群、ゴマサバ対馬暖流系群の資源評価に関する以下の試算について、貴機構等をはじめとした共同実施機関による見解についての資料の作成をお願いいたします。作成された資料については、水産庁主催会議における説明等の対応もよろしくお願い致します。

令和 6 年度の資源評価結果に基づき、マサバ対馬暖流系群及びゴマサバ対馬暖流系群で $\beta = 0.95$ において漁獲管理規則に基づき算定される漁獲量の平均値と、それらの漁期年（2025 年 7 月～2026 年 6 月）に相当する漁獲量を算定していただきたい。

以 上